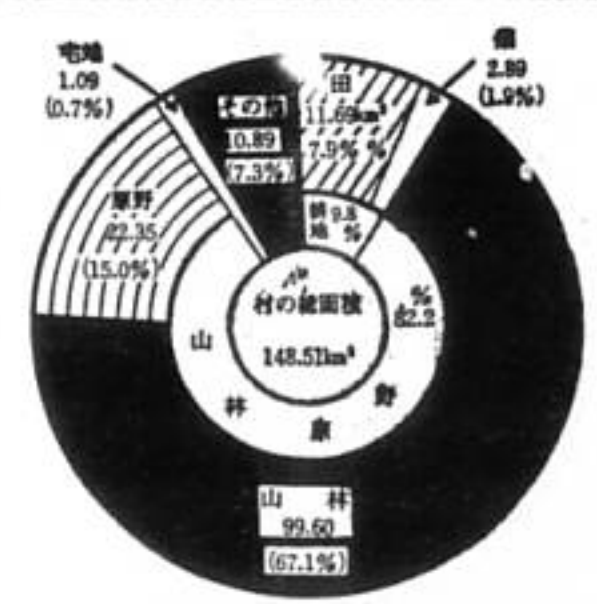




政 財	
一般会計	481,536千円
特別会計	117,325千円
国保	93,370千円
黒診	927千円
簡水	12,615千円
玉財	10,413千円

世帯と人口	
世帯数	1,564世帯
人口	7,103人
男	3,480人
女	3,623人
前月に比し世帯は5の減、人口は19の減	

報 利 村 東 由

No. 175 1972・2・1

発行 秋田県東由利村役場 印刷 K K本間印刷所
毎月1日発行(1部8円) 昭和42年7月21日第三種郵便物認可

年明け早々の移動 現実に敏感な住民

出かせぎの方たちが正月帰郷している間に、という地域からの要望にこたえて、一月四日、黒淵、蔵、法内の村内三か所で移動村民室が開かれた。移動村民室は、行政が地域住民に、どのようにとらえられているか、その反応を直に知らされる機会であり、また、行政のねらいが、正しく理解されるのに役立つものであるため、地域からの希望により、随時ひらかれていくものである。

黒淵会館には地域からの参加者が四〇人。はじめに小松村長が、こししの課題と、これに対処する考えを、要約づきのように述べた。

①頭から離れないのは、米生産調整の三年目をむかえる税が伸び悩むであろう。しか

避けたい複式学級 地域の父兄やきもき

またこの日、法内、蔵地域でも移動村民室が開かれた。中心となった話題を要約すると、

【蔵会場】 ①学制改革、いながら六・三制が変わるような動きの中で、蔵小学校の一部が、はじめて複式学級の編成を余儀なくされている。

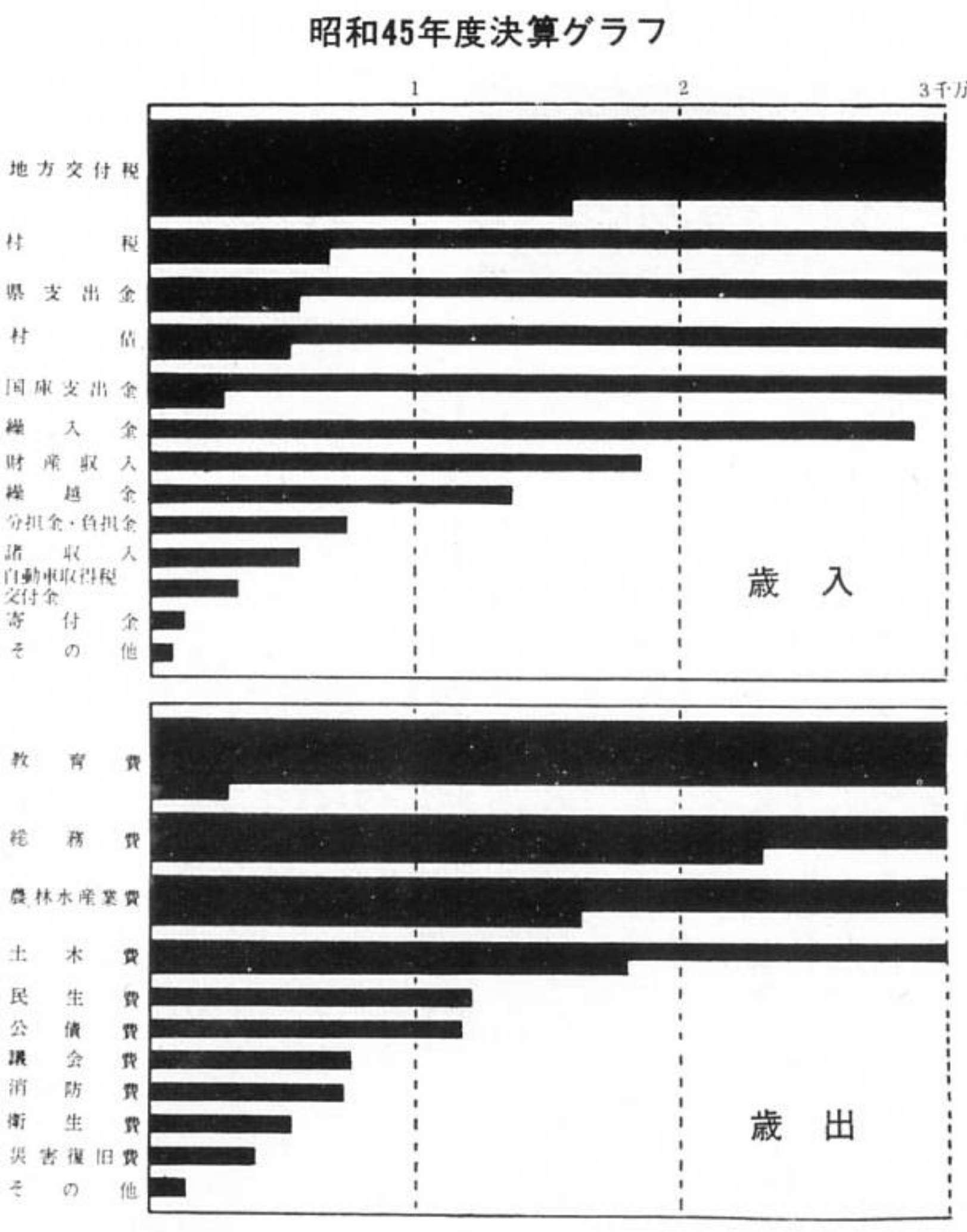
責任・自覚うながす 村長がご用始めて



一月四日、役場のご用始めの式で小松村長は、全職員に対し、全員の奉仕者としての公務員の、責任と自覚に立つて取組んでほしいと呼びかけ、ついで新年の課題を述べた。

【蔵会場】 ①学制改革、いながら六・三制が変わるような動きの中で、蔵小学校の一部が、はじめて複式学級の編成を余儀なくされている。

第六回本村議会定例会は、十二月十六日から三日間、役場で開かれた。定例会では昭和四十五年の一般会計は、四つの特別会計決算の認定。新たに土地開発基金を設ける議案など、認定一件、議案六件は原案どおり可決された。



昭和45年度決算 トップは建設費
執行率は98パーセント

⑦茂沢―老方間の改修。⑧須郷田―新田線は五区に拡幅。⑨地下ノ沢橋ができたので、こんどは向田橋のかけかえと、取つけ道路にかけかえと、取つけ道路の動きがある。⑩泡ノ淵で基盤整備の動きがある。⑪広域消防の常備消防分署ができるので、決定した位置ではないが、老方バイパス附近に考えている。⑫高性能の消防車と九一〇人の消防士が配置される。⑬ゴミ処理は、村独自で行なう方向と、由利広域圏計画での位置が、かつての西目から本庄二十六木周辺に変わった。国道一〇七号線山内地区改修で、当初とは距離感の相違など条件の変化にともなう二つの方向がある。資料を検討して何れかに決定、解決したい。⑬田代・黒淵地区に、へき地保健福祉館を建設したい。⑭郡内に公民館がないのは本村だけとなった。社会教育の場として、どうせつくるならよいものを、その機能と規模の検討に入りたい。

平均四五〇円 出かせぎ所得への税

黒淵地域では、村に対するつぎのような要望が出された。村長との間に応答があった。

住民 ①水道管理時、掘った個所の水を抜かないで、埋めもどしたため、道路がぬかるみになった。②集落の代表者に連絡しないで、埋設箇所を掘ったため、既設物の損壊もあった。③とくに向田では土中に石が多く、掘り出した石が、ところどころに放置されており、除去されるよう。

村長 現場からの報告と差違があるので調査し、打てる手は打ちたい。

住民 県道から離れた集落への道路を拡幅したいが、チエがほしい。

村長 つぶれ地さえ解決してくれれば考えたい。

住民 過疎化でさしたたてて困るのは、嫁が探しにくいということ。羽後町上到来地区との交流に希望をもっている。

なお、起債(村の借金)は三・一割にあたる千七百七十四万八千円。一方、将来の臨時的な支出に備える、財政調整基金への積立は、八・六割三千二百八十一万五千円である。

公用地先取に基金 台山新線設計に着手

▲一般職員の給与条例の一部改正。人事院勧告にともな

▲四十六年度一般会計の予算補正(四回目)。二千四百六十六万六千円を追加して、総額を四億八千五百五十三万六千円とした。

主な使途は▽人事院勧告によるベースアップのため、給与と共済費など関連経費六百三十万八千円。▽土地開発基金に繰出し六百五十万五千円。▽児童遊園整備に八十一万四千円。▽転作助成費等に追加二百二十七万八千円。▽牧山林道設計委託料二十四万円。▽林道土場沢線の敷地購入十五万円。台山線整備のため、航空写真測量がある。④全額が国の金による、昨年来、土場沢線新設工事が行なわれており、すでに一千万円相当の工事量が出来ている。完成には約八千万円を要しようが、こ



広域消防で消防 職員を募集中

本荘地区組合消防(広域消防)では、職員十二人を募集している。

対象 昭和二十一年四月二日から二十九年四月一日までに生まれた男子で、高校卒業ていどの学力がある方で、身長一・六〇m、体重五二kg以上視力、聴力とも健全であること。

試験日時 四十七年二月九日午前八時三〇分、受付開始試験場所 本荘市役所正庁合格発表 二月二十一日消防庁舎正面玄関に掲示のほか本人あて通知。

受験申込み 市販の履歴書用紙に書いて(写真を貼る)提出のこと。健康診断書と卒業証明書または卒業見込証明書を添えて、本荘地区消防組合消防本部へ二月四日まで。郵送のときは「職員採用試験受験書」と朱書きする。

問い合わせ先 受験手続きは、消防本部が役場へ問い合わせてください。

▽二月一日から、手紙二〇円はがき一〇円に、それぞれ料金改正が行なわれます。

▽家庭でカラーテレビを見ている方は、カラー契約が必要です。郵便局が集金員に連絡してください。

▽郵便は大切です。郵便受箱を備えましょう。受箱は、電気、水道などの検針票入れにもなり、また雨、風、留守の日にも安心できます。部落に回覧しています。

出かせぎ先での税金は、源泉徴収された方は、その就労先から、今すぐ「昭和四十六年度分給与所得の源泉徴収票」をもらって留守家族に送り、所得税の確定申告をさせてください。申告書のつくり方は役場が相談のります。

なおこの手続きは、二月中にすませるようのぞまれています。

出かせぎ先は 出かせぎの方であって送っている村報などが「受取人不在」で返される例が少なくありません。ことに正月を境に、就労先を変えた方は、役場あて知らせてください。

本村青少年問題協議会では一月十八日、東由利中学校に村内外から一三〇人の関係者の参加をえて、東由利村青少年健全育成総合推進地区としての公開研究会を開いた。本村は、昭和四十五年度から二年継続で、県から青少年健全育成総合推進地区に指定されており、村内各地でこの活動が繰り広げられてきた。そこでこれまでの実践の足あとをふりかえり、その成果を確めて、今後の推進が、よい方向にとめざした。

健全なあすを指向

待たれる親の協調性

（下小路）子ども会の育成は、はなれない。「車に気をつけや」かならず三回は同じことをいう。「わかってる」私も三回は答える。「おかあさんも気をつけや」母も「わかってる」と答える。「わかってる」と答える。これが、わが家の真剣な、行ってきたあいつ。車が少ないからかわりに、国が、家がびんぼうになつても、父が生きてるほうが、ずつといふ……詩を朗読して、小さくともよい、行動を起こさなければと呼びかけた。

日常のふれ合いを

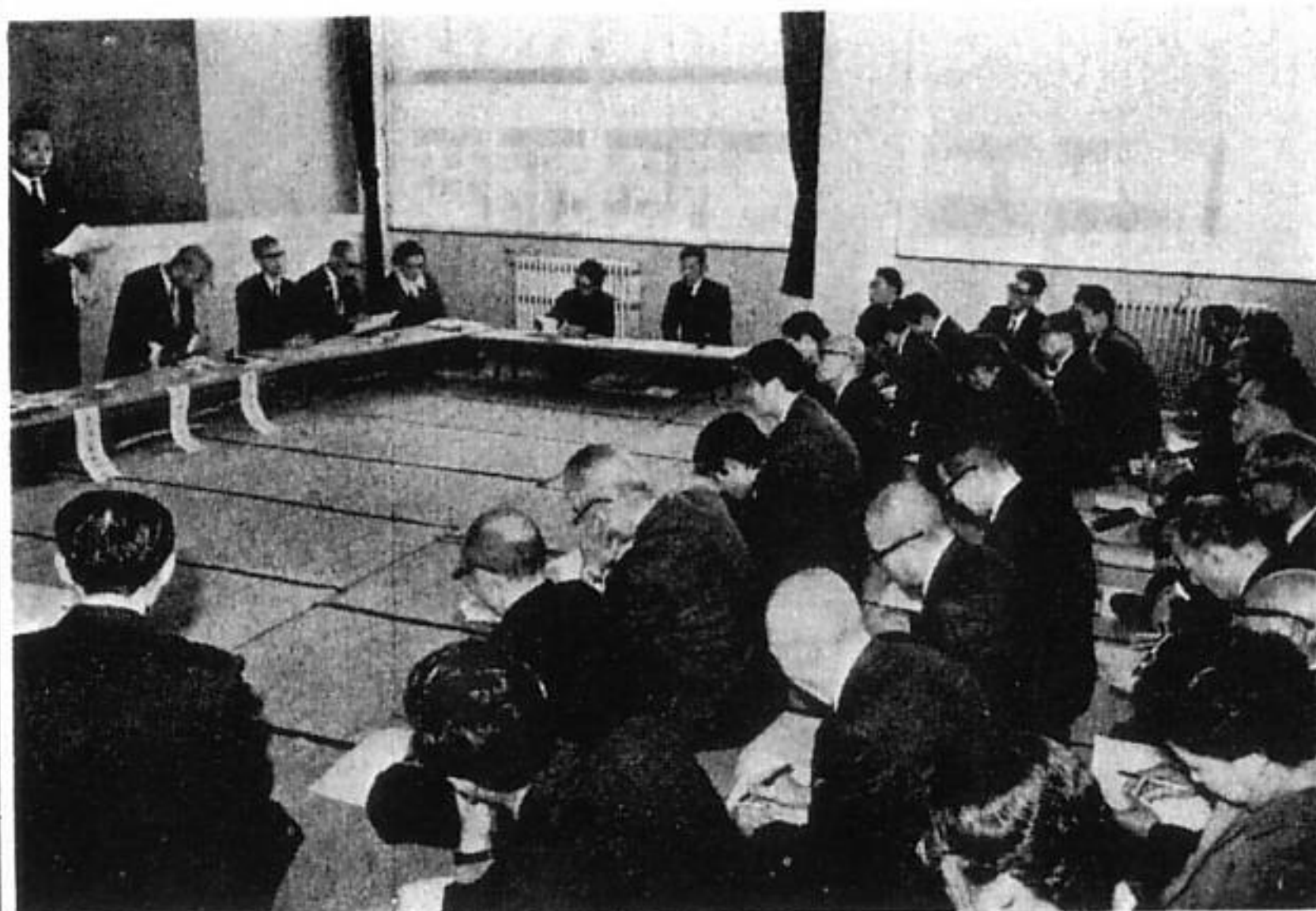
実践発表・大坂昭平さん

青少協が公開研究

公開研究会では、四人が実践発表を行ない、参加者の注目を集めた。

小さくともよい行動を起こそう

実践発表・阿部朝要君（本庄高校下郷分校）。学校と生徒の協力で調査した①登、下校の交通手段②村内の交通事情③これらに対する生徒の考えを図を添えて説明。全校生徒の一人一人に「心の中に、左右確認の運動を」と呼びかけ、輪を広げている。ある交通遺児の詩の断片。どこを歩くにも車、車、頭か



青少年健全育成の足あと・今後を語り合う会場

ぬ子へ スビード落とせ 愛の徐行。

問題はむしろ親に

実践発表・杉江孝子さん（新町）親の会の誕生。

子どもたちが、ある家の庭に実っている果実をとっていったら、通りがかりのある母親が「人の物を盗むときは、証拠を残すな。証拠を残せば、いい逃れはできないよ」といったとか。「問題の子があるのではない、問題の親があるのだ」という言葉の意味を見せつけられた感じがした。この話を、村の民生委員と青少年世話人会との会合で話し、子ども会充実以上に、親の会結成が先決ではないかと提言、多くの方から賛同された。そこで集落の若妻会が発起人となり、集落の全世帯に呼びかけ、趣旨に賛成する人で、まず結成しようということとなり、会員四四人で、「親の会」が正式に誕生した。会の仕事としては①二か月に一回でいど、会員の心の交流のために親睦会。②夏には子らを海へ。そのための積立貯金をはじめる。③日常生活の中では、声かけ運動・言葉づかい・交通安全など身近な問題をとりあっている。

児童館は開放

実践発表・遠藤莊二郎さん（小倉）子ども会活動と今後のねらい。

集落は三四世帯、小、児童館数は二六人。小倉児童館は、県内児童館の第一号として誕生したのであった。▽集落の協力①となり組単位に一人ずつ、計三人おり、遊び場整備が中心。②児童館は、やまもすれば大人の集会所、場がちとちとが、集落では、カギをかけたままに開放して子に喜ばれてる。③児童館の床は、子ども本位の板張り。落書き予防と実用に

高森スキー場にロッヂが完成

高森スキー場に待望のロッヂが完成、地域の子どもたちも、長い間待ち続けてきた。高森スキー場にロッヂが完成、地域の子どもたちも、長い間待ち続けてきた。高森スキー場にロッヂが完成、地域の子どもたちも、長い間待ち続けてきた。高森スキー場にロッヂが完成、地域の子どもたちも、長い間待ち続けてきた。



一三〇人の子どもが集まってロッヂ開きが行なわれた

世話人活動が左右健全育成の決め手

それぞれのテーマごと、分科会を三つにわけ、真剣な意見交換が行なわれた。

第一分科会 青少年健全育成で、世話人活動を活発にするには。▽活動の反省。▽湯出野児童館を開放したら破損があったので規制。子には不評。▽望ましい世話人活動。▽地域全体の連帯責任であるべきで、世話人の出かせぎ不在時には、代役があつてよい。▽子らと世話人の考えが一致するよう。▽親の会、子ども会の連絡協力を促す世話人に▽子らの発育段階に応じ、自覚をうながし責任意識をもたせるよう。▽八日町親子運動会。▽湯出野児童館と遊園造成。▽湯出野子ども専用児童館

子らの望みを

支部長表彰 消防協力団体 蔵火災予防組合。消防庁長官表彰 退職職員 賞状伝達・元班長、高橋茂男（久保）。同、高橋義一（五海保）。同、佐藤幹悦（黒淵）。二〇歳になったら国民年金に加入を

これらの事故に備えて、加入者全員が、前もって保険料を積み立て、さらに国も、保険料の半額を負担して、これらの給付に要する財源としています。わが国には、この国民年金

安い飼料

サイロは、冬、青草類の不足に備え、飼料を、なまに近い状態で貯蔵するため石材、レンガ、鉄筋コンクリートなどを材料に円筒型



手にしてるのがトツツ飼料

無理のない畜産

に建てた倉庫。サイロトツツ「これも同様の目的であるが、材料がビニール袋であり、内容物をつめて逆さにし、庭の一隅でも、所きらず積んでおける、設備に金のかからない、合理的な方法である。

軽便なサイロトツツ

低資金、置き場が魅力

トツツで冬の飼料をまかなっているのを見て、安価に飼料を得ることは、即、無理のない牛飼いができるとにらんだからだ。そこで自身でも三〇〇袋のサイロトツツを作るかたわら、組合員に説いてまわったというサイロトツツの作り方は

でよく。この小袋には、デントコーンとか牧草の種類にもよるが、三〇〇五〇〇は入れられ、袋代は五〇〇円取材に訪れた一月八日は黒淵和牛組合の総会準備の役員会が開かれていた。議事の合間に交わされる話がおもしろい。いわく「うまい米うまい米といつたって、堆肥も入れずに出

また、会社の健康保険にいられてもらえない場合には、その事情により（証明書がある）持例的に、村がマル持の保険証を発行することもあります

来る道理がない。家畜を飼えば地味がこえて、うまい米ができる。▽「十万円未満の子牛はつくってほしくないし売ってほしくない」これが同組合のモットー。ちなみに村平均の取引価格より、一頭平均七千円高のデータ。▽「せわしなくって、つかまえてくれない牛は粗悪牛」にいたっては、ま

さに牛飼哲学。「それだけ、飼主の手が、愛情がかけていない証拠」という。畜産を通じ、村内の現状に感じることはいくつか。水を向ける。すかさず牛でも豚でも、稲作りでも「三〇代の中堅が、もつと力をいれて取組んでくれば面白いが」と返ってきた。

出かせぎと健保 出かせぎ就労で、会社員になると、村の国民健康保険から、会社の健康保険へ移らなければなりません。その場合、会社から、会社の健康保険の保険証が、その写しをいし、村の健康保険証といししに、役場へ持ってきてくだされば、村の国民健康保険税を、月割に安くなります。